
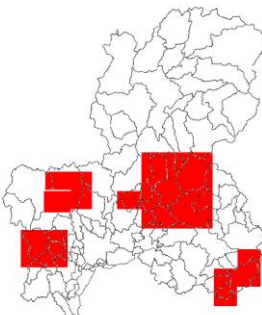


| | | | |
|--------|---|--------------------------------------|---|
| ミヤマナミキ | | <i>Scutellaria shikokiana</i> Makino | 絶滅危惧 I 類 |
| | | シソ科 | |
| 選定理由 | 既知の生育地で生育の条件が明らかに悪化しており、個体数が危機的水準まで減少している。 | | 写真(岐阜県博物館) 標本  |
| 形態の特徴 | 細長い地下茎から直立した茎は、高さ5-15cmになる多年草。節より分枝し、上部には開出する腺毛が散生する。葉は有柄で広卵状3角形で、薄く、先は尖り、縁には数個の深い鋸歯がある。花期は7-8月。花序には、長さ7-8mmで淡紅色の唇形花が斜上して疎らにつく。 | | |
| 生態的特徴 | 山地の木陰に生える。 | | |
| 分布状況 | 本州(関東地方以西)~九州に分布する。県内では県南のかなり広い地域にわたって生育している。 | |  |
| 減少要因 | 本種の分布域は県南のかなり広い地域にわたって分布しているが、もともと生育個体数も少ない。また、その再生産能力を上回る採取圧に曝されている。 | | |
| 保全対策 | 生育地を公表する必要のある場合は、生育場所を特定できないことのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。 | | |
| 特記事項 | | | |
| 参考文献 | 佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅲ」平凡社(1982) | | |

文責:佐藤和良